

来春の全国スギ・ヒノキ(北海道域はシラカバ)の花粉飛散量予報

～ この春は多いの？少ないの？ 早めの治療にお役立てください ～

財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区, 会長:松尾 道彦)は、平成 20 年の全国のスギ・ヒノキ(北海道域はシラカバ)の花粉飛散量の予報を発表します。なおこの予報は、全国の今夏の気象条件を基に作成したもので、今後の気象条件や花芽観測により内容が変わることがあります。今後も日本気象協会の花粉予報に注目ください。

1. 予報の概要

地方	主な花粉の種別	予報の概要
北海道	シラカバ	今夏の高温・少雨・多照の影響で例年より多く、飛散量が非常に少なかった平成 19 年と比べかなり多い飛散となるでしょう。
東北	スギ	7 月の気温が低く日照時間も短かったことから、例年より少ない所が多いですが、青森では気温及び日照時間もともに平年を上回ったため、例年よりやや多くなる見込みです。平成 19 年と比較すると、多くなる所が多いでしょう。
関東・甲信	スギ・ヒノキ	7 月に日照時間が短かったことから、例年と比べ少ないかやや少ない見込みです。ただし、飛散量の少なかった平成 19 年と比較すると多くなるでしょう。
北陸・新潟	スギ	7 月の気温が低く日照時間が短かったことから、例年よりも少なく、平成 19 年よりも少なくなる見込みです。
東海	スギ・ヒノキ	例年と比べ三重ではやや多くなる見込みですが、7 月の気温が低く日照時間が短かったことから、例年並みかやや少なくなる見込みです。また平成 19 年の飛散量が少なかった愛知、三重を除いて、平成 19 年よりも少なくなるでしょう。
近畿	スギ・ヒノキ	7 月の気温が低かったことから、例年と比べやや少ないでしょう。また平成 19 年の飛散量の少なかった滋賀、和歌山、京都を除いて、平成 19 年より少なくなるでしょう。
九州	スギ・ヒノキ	7 月の気温が低く、日照時間もかなり低かったことから、例年並か例年よりやや少ないでしょう。また平成 19 年の飛散量の少なかった宮崎を除いて、平成 19 年より少なくなる見込みです。

言葉の説明

例年	過去 10 年間の平均値	例年並	例年との差が 10%未満
やや少ない	例年との差が 10%以上少ない	少ない	例年との差が 30%以上少ない
非常に少ない	例年との差が 50%以上少ない	やや多い	例年との差が 10%以上多い
多い	例年との差が 50%以上多い	非常に多い	例年との差が 100%以上多い

より詳細な平成 20 年春の花粉飛散量の予報は、「平成 20 年春の花粉総飛散数 予測資料」として販売しています。(別紙参照)お問合せください。

【別紙】

3. 「平成 20 年春の花粉総飛散数 予測資料」の詳細

商品名	内容
花粉シーズン予測 (解説文章)	飛散開始前の天候や昨年までの飛散状況、花粉を付ける花芽の状態などをもとに、全国(6ブロックに細分)の来春のスギ・ヒノキ(北海道はシラカバ)の花粉総飛散数の予測を、分かりやすく解説する資料
年総飛散数予測図 (グラフ図)	東北～関西までの9地点の、平成19年と平成20年の花粉総飛散数を、地点ごとに棒グラフで表した図
都道府県別 例年比予測地図(図)	各都道府県(北海道のみ2ブロックに分割)別の平成20年花粉総飛散数の例年比を、日本地図上に色づけ表示した図
年総飛散数および前年夏の気象要素の 時系列図(グラフ図)	過去の花粉総飛散数の年変化と平成20年の花粉総飛散数の予測を、花粉生成量に関係の深い気象条件とともに示したグラフ(12都府県別)

2007年春の花粉飛散について(九州)

九州のスギ・ヒノキ花粉は、例年並
児島は例年よりやや多くなるでしょう。
なくなる見込みです。

2006年夏の天候について
九州は気温は各地高く、猛暑となり
は記録的な豪雨となりました。日照時
りしました。

①府県	②都市	③花粉種別	④予測(例年比較)	⑤予測(前年比較)	⑥予測ランク
福岡	福岡市	スギ・ヒノキ	65~100%	45~70%	やや少ない
佐賀	佐賀市	スギ・ヒノキ	70~100%	70~105%	やや少ない
長崎	長崎市	スギ・ヒノキ	80~125%	55~85%	例年並
熊本	熊本市	スギ・ヒノキ	95~140%	100~145%	やや多い
大分	大分市	スギ・ヒノキ	60~95%	40~60%	やや少ない
宮崎	宮崎市	スギ・ヒノキ	50~75%	45~65%	少ない
鹿児島					やや多い

都市	平均気温	平年差	降水量	例年比
福岡市	26.5℃	+0.8	981.5mm	135% 51
佐賀市	26.8℃	+1.1	932.0mm	104% 47
長崎市	26.4℃	+0.8	1297.5mm	145% 50
熊本市	27.2℃	+1.2	1858.5mm	187% 50
大分市	26.0℃	+1.0	1069.0mm	149% 51
宮崎市	26.2℃	+0.6	1274.0mm	129% 52
鹿児島市	27.5℃	+0.9	1085.5mm	111% 52

2007年春の花粉飛散について
2007年の花粉は、気温からは多くなるのが予想されます。ただ、記録的
な豪雨と日照時間の少なさから北部や宮崎県では例年より少なくなるのが予
想されます。

解説文章 花粉シーズン予報(サンプル例)

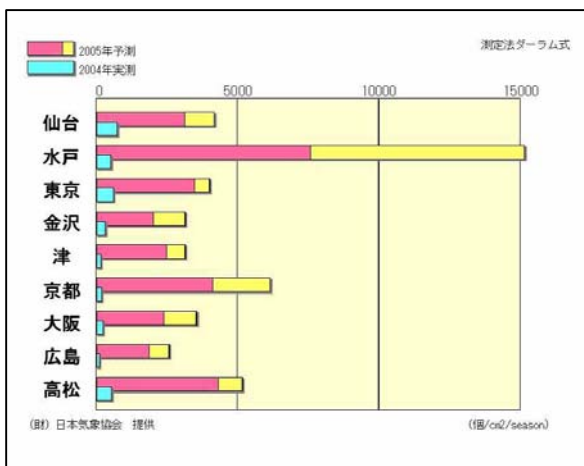


図 年総飛散数予測図(サンプル例)

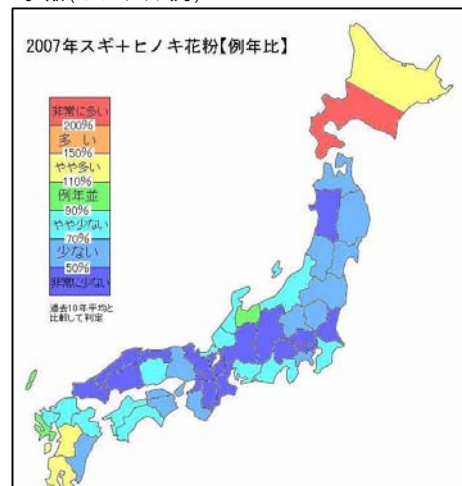


図 都道府県別 例年比予測地図(サンプル例)

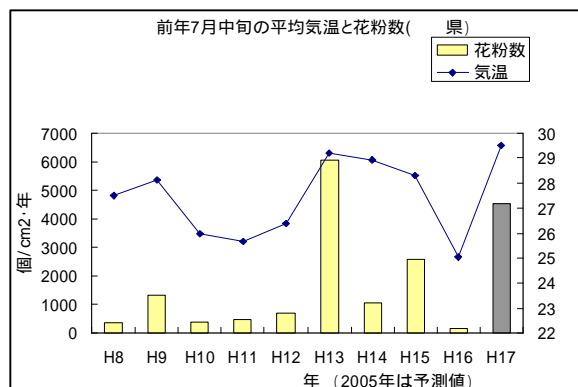


図 年総飛散数および前年夏の気象要素の時系列図(サンプル例)